

# 八戸市デジタル推進計画を策定しました

図行政管理課 43-2124

市では、市民が暮らしやすさを実感できるデジタル社会の形成を目指し、3つの基本目標を定め、その達成に向けて取り組みを推進するため、「八戸市デジタル推進計画」を策定しました。

計画期間 **令和5年度～令和7年度(3か年)の取り組み**

## 【主な取り組み】

- 行政サービスを統合したスマートフォン用アプリの開発
- 市庁舎の窓口や文化・スポーツ施設など公共施設へのキャッシュレス決済の導入
- 本庁舎におけるWi-Fi整備箇所の拡大
- 病児保育ネット予約サービスの導入
- 「はちのへAI中心街・バス活性化プロジェクト」による、中心街情報発信アプリの実装
- 地元IT企業や高等教育機関と連携したデジタル技術に関する勉強会の開催

## 市民サービスのデジタル化

【すみよいデジタル】  
より快適に、より便利に

展開する施策

- ①行政手続のオンライン化の推進
- ②情報発信の充実・強化
- ③通信インフラ整備の推進
- ④デジタルリテラシーの向上とICT<sup>\*1</sup>教育の推進
- ⑤医療・健康・子育て分野におけるデジタル化の推進

## 地域社会のデジタル化

【うみだすデジタル】  
いきいきとしたデジタル社会へ

展開する施策

- ①デジタル技術を活かしたまちづくりの推進
- ②デジタル化による地域経済の活性化

## 行政事務のデジタル化

【はたらくデジタル】  
働き方のリデザイン

展開する施策

- ①庁内BPR<sup>\*2</sup>の推進
- ②RPA<sup>\*3</sup>・AI<sup>\*4</sup>の活用促進
- ③情報システムの標準化・共通化の推進
- ④情報資産の最適化と情報セキュリティ対策の徹底



市民サービスと行政事務のデジタル化を加速させ、地域社会のデジタル化を推進

## 市民が暮らしやすさを実感できるデジタル社会の形成

### 八戸市デジタル推進計画について

市ホームページ

八戸市デジタル推進計画

検索



冊子はこちらで閲覧できます(3月上旬から)

各公民館、瑞豊館、各市民サービスセンター、図書館、南郷図書館、図書情報センター、市政情報コーナー(市庁本館1階)、行政管理課(市庁本館2階)

**用語の解説**  
 \*1 ICT…Information and Communication Technologyの略。コンピュータによる情報通信に関するハードウェア、ソフトウェア、システムおよびデータ通信などに関する技術の総称。  
 \*2 BPR…Business Process Re-engineeringの略。職務、業務フロー、管理機構、情報システムなどをデザインし直すこと。  
 \*3 RPA…Robotic Process Automationの略。人がコンピュータで行う大量・反復の事務処理をソフトウェアに自動で代行させる技術。  
 \*4 AI…Artificial Intelligenceの略。人間の脳が行っている知的な作業をコンピュータで模倣したソフトウェアやシステムのこと。